

かけし

黄の3組
～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、黄の3組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけし」は、本園 Web サイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

身近な素材（お菓子の空き箱、ペットボトル、牛乳パックやサランラップの芯など）をつかって、ロケットや電車、お家やハロウィン飾りなど、いろいろな工作をしてきた子どもたち。「先生、この箱遊びにつかえるかな？」「ゼリーのカップも持ってきたよ」などと、おうちから身近な素材を持ちよる姿も見られるようになりました。子どもたちは、自分たちの遊びに必要なものを、どの素材をつかいつくっていったらいいかみんなで探究中です。

★ 身近な素材をつかって 街の自動販売機 ★

「黄3に街をつくらうよ」「街にはどんな物があるのかな？」そんな子どもたちの意見から生まれた遊び。



「街には自動販売機があるよね」「段ボールにきれいな色の紙をはって、かわいい自動販売機をつくらうよ」「ジュースが落ちてくるのを坂道にしたらいんじゃない？」



「ジュースはどうやってつくらうか？」「これに紙をつめたらジュースに見えるかも！」素材のなかに小さなペットボトルを発見。「これはレモン味」「これはブドウ味」と、味を想像しながら、お花紙をつめていました。



「自動販売機にお客さんが来たらお話ししたり音楽が聞こえたりしたら楽しいんじゃない？」「僕お話しする係になりたり！」と自動ではないけれど、たのしい販売機になりました。

★ 身近な素材をつかって 街を走る車 ★

いろいろな工作をつかって遊んでいた子どもたちから生まれた遊び。



「先生、本当に走る車にしたい」「ゴムをつけたら動く車になるよ」「YouTubeで見たことある」と、自分のイメージや経験などを伝えたり、保育者とつくり方を調べたりして、ゴムと牛乳パックをつかって車をつくることにしました。



ある絵本を通して「リユース」という言葉を知った子どもたち。車づくりに使う牛乳パックにむかって「牛さんのミルクを守ってくれてありがとう」「今度は車になってください。」「素敵な車をつくらう！」とはりきっていました。



「素材のいいところ探し」が大好きな子どもたち。「ゴムのいいところは伸びたり縮んだりするところ」「キャブは固くてよく転がる」など、素材のいいところ(特性)を、遊びにいかそうと試行錯誤しながら車をつくっていま

★ 身近な素材をつかって クッキー屋さん・薬屋さん・ブーケ屋さん

園外保育で見つけたりおうちから持ってきたりしたドングリや木の実で遊んでいたことから始まった遊び。



1学期からお店屋さんごっこをして遊んでいた子どもたち。「今度はどんなお店にしようか？」「花屋さん」「お菓子屋さん」「薬屋さん」「おもちゃ屋さん」たくさんの意見が出されました。



「みんなが喜ぶお店にしよう！」「美味しいものがあると嬉しい」「病気やケガをしても安心」という理由でクッキー屋さんと薬屋さんをすることに決まりました。



おうちから持ちよった素材のなかにあったボタンやビーズもつかって、段ボールを土台にしたドングリクッキーや、ドングリや落ち葉を袋に詰めて薬づくりがはじまりました。お店は、時々、落ち葉のブーケ屋さんになることをもあります。

★ 身近な素材をつかって ドングリすくいゲーム ★

金魚すくいの遊びから発展した遊び。「今度は金魚じゃなくてドングリをすくおう！」



キャンパスや園庭でドングリをたくさん拾いました！「ドングリで何して遊ぼうかな？」



「ドングリを金魚すくいみたいに遊ぼうよ」「ドングリをすくうのつくらうよ？」「金魚すくいの“ポイ”みたいなをつくれなかな？」



「いくつ取れたか数えてみよう！」「たくさん取ったほうが勝ちにしようよ！」「すくったドングリをお金にしてジュースとか買うのはどう？」など、様々なアイデアが出されています。

★ 身近な素材をつかって 街並みづくり★

自分のおうちが欲しい！でも、みんなのおうちも欲しい！大きさの変えられるおうちをつくらうと始まった遊び。



「街のなかには、たくさんお家があるよ！」「生き物もいるよ！」「大好きな恐竜も住んでいると楽しい」「サンタさんの(来る)煙突も描こう！」「じゃ、雪も降ってないとね」など、みんなでワイワイ言いながら、「みんなのお家のある街並み」を描きました。段ボールにクレヨンで絵を描く際、「ポコポコして楽しい！」と画用紙に描くのととは、違う感触を楽しんでいる様子でした。大きな段ボールを壁にして囲いを作り、日々、いろいろな広さのお家をつくっています。

